

# 青山アカデミー

カリキュラム連携型の幼・小中一貫教育の推進

## 港区立青南幼稚園

自然に囲まれ起伏のある園庭で、体をのびのびと動かしながら、元気いっぱい遊んでいます。地域とのかかわりを大切にした教育活動を進めています。

## 港区立青山中学校

「さわやかなあいさつがとびかう温かい学校」をモットーに、文武両道、自主・自律を校訓とし、学習や生徒会活動、部活動にも熱心に励んでいます。

## 自立と参画

## 港区立青南小学校

緑豊かな学校には隣接した第2校庭があり、体力づくりに取り組んでいます。挨拶運動等児童の力で温かい学校づくりに取り組んでいます。

## 港区立青山小学校

人工芝の校庭で元気よく活動する子供たちが印象的な小学校です。また、子どもたちは学年や学級の枠を越えて関わり合う様子が見られます。

## 研究主題

「幼・小中12年間を見通した道徳教育の推進」

### <目指すアカデミー像>

各校・園が、開かれた学校・園づくりを進めながら、家庭、地域社会との連携を深め、4校・園が協働して幼児・児童・生徒の健全育成に努める。

### <目指す幼児・児童・生徒像>

地域社会の一員としての自覚をもち、心身ともに健康で、知性、感性、品性を身に付けた人間性豊かな子ども。



# 平成30年度の取り組み



3校1園の教員が、校種を超えて各部会に分かれ、研究協議を行いました。9月には、道徳の研究授業・研究保育を各分科会で行い、11月にアカデミー内での研究報告会を開き、各部会の成果と課題について共通理解しました。

## <幼稚園・小学校低学年 部会>

幼稚園の3歳児学級の研究保育を実施し、降園前の支度や集まって教師の話聞く場面を見て、協議をしました。

◇「みんなで集う心地よさ」「生活習慣の自立」「思いやりの芽生え」を視점에協議し、幼稚園の教育で大切にしていることが、後の小中学校での学校生活にもつながるということが分かった。

◆幼稚園で大切にしている指導のポイントが児童生徒の実態に合わない場面もあるので難しいこともある。また、生活習慣においては、保護者と共通理解を進めることも大切だと分かった。



## <小学校中学年 部会>

小学3年生の道徳の授業では、「正しいと思うことを行う」というテーマで、友達の不正を知った主人公の心の葛藤について、自分だったらどうするかを考えました。

◇話し合い活動を通して、児童一人一人がしっかりと考えをもつことができた。また、自分とは異なる考えに対して、共感的に受け止めることができていた。

◆一つの道徳的価値について、いかに広げたり深めたりするかが大切である。



## <小学校高学年・中学校 部会>

中学2年生の道徳の授業では、「夢を追うこと」というテーマを基に、即興劇を発表し、それを見合って各自の考えを深めました。

◇即興劇を行ったことで、お互いの気持ちを理解することができた。

◆即興劇を行った後に、個々の意見を深める時間を設けるとよかった。



## 交流の様子



<保育実習>  
青山中3年生が幼稚園の子どもたちと関わって実習をしました。



<町探検>  
青山小2年生が生活科の授業で青山中を訪問しました。



<作品展>  
幼稚園の作品展に青南小1年生が遊びに行きました。



<スプリングコンサート>  
吹奏楽部の三校合同で演奏しました。

<職場体験>  
青山中3年生が幼稚園の子どもと関わって実習をしました。

<部活体験>  
夏休みに青山中の部活を小学生が体験しました。

<秋祭り>  
青南小1,2年生の秋祭りに幼稚園児が遊びに行きました。